

「自分らしく生き方・治療を決めるとは(SDM)」アンケート結果の報告

2025年3月4日(火)に開催いたしました表題セミナーのアンケート結果をご報告申し上げます。当日は、オンラインで185名の方にご参加いただき、93名の方々からアンケートの回答を頂きました。

頂きましたコメントは、数が多いため重複する内容をまとめたり、一部抜粋したりして紹介しています。たくさんのご意見を頂きましたことに感謝申し上げます。

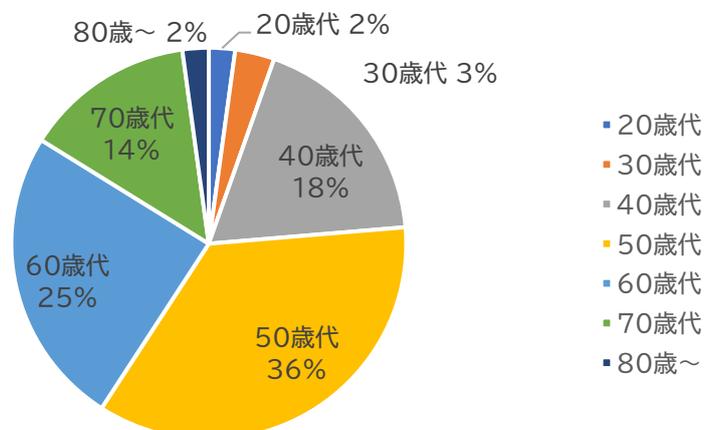
1. お住いの都道府県を教えてください (n=93)

県名	人数	県名	人数	県名	人数
北海道	1	長野県	1	奈良県	4
岩手県	1	岐阜県	1	和歌山県	1
宮城県	2	静岡県	3	香川県	2
千葉県	5	愛知県	9	愛媛県	1
東京都	20	三重県	1	福岡県	5
神奈川県	10	滋賀県	1	熊本県	2
新潟県	1	京都府	3	大分県	3
石川県	4	大阪府	6	鹿児島県	1
山梨県	1	兵庫県	4		

※参加者のいない都道府県は省略しています。

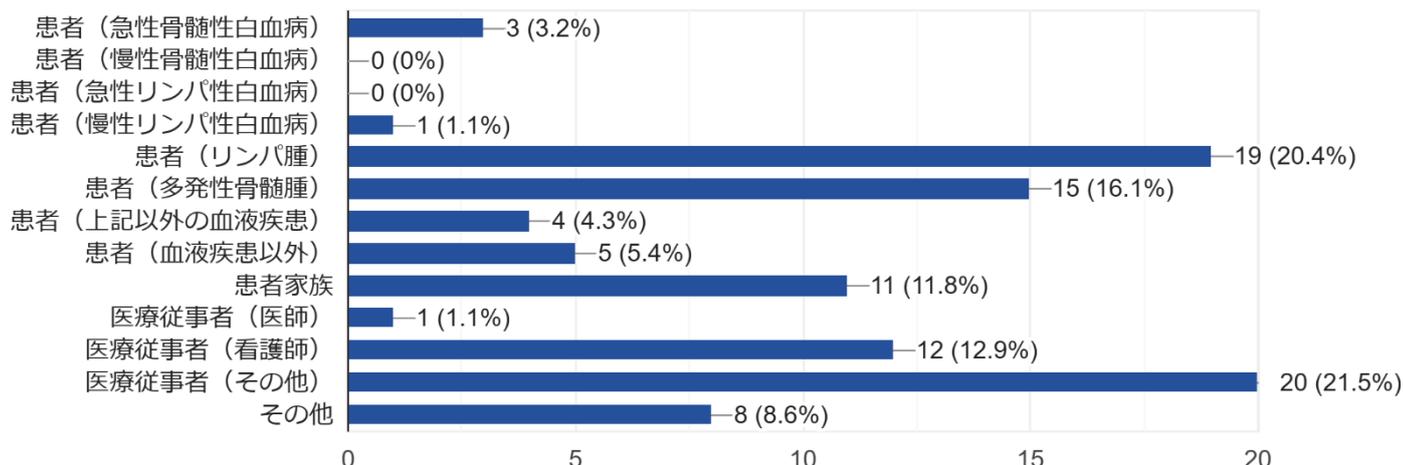
2. 年代を教えてください (n=93)

年代	人数
20歳代	2
30歳代	3
40歳代	17
50歳代	33
60歳代	23
70歳代	13
80歳～	2



3. お立場を教えてください

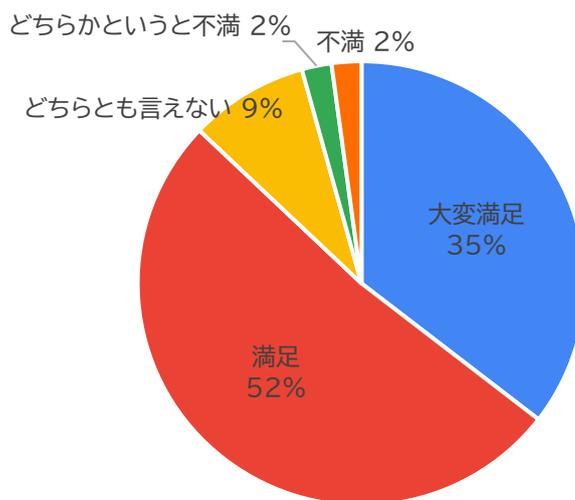
93 件の回答



その他詳細：薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、MSW、管理栄養士、検査技師、介護支援専門員、元循環生理研究者、がん患者の遺族、ピアサポーター、医療通訳、製薬企業社員(2)、乳がん体験者

4. 知っとかナイト「自分らしく生き方・治療を決めるとは(SDM)」に参加して、最も当てはまるものを選択してください (n=93)

満足度	人数
大変満足	33
満足	48
どちらとも言えない	8
どちらかという不満	2
不満	2



5. 上記で回答した理由を教えてください(抜粋)

【大変満足な理由】

- ・ 病気になった患者さんが自分の病気を知って、治療の方法や「どんな治療を受けたいのんか」を選んでいくことが大事やから。
- ・ セカンドオピニオンはいまだに言い出しにくいことがわかったこと。わたしは熟慮を重ね、言葉を選び、勇気を持って主治医に伝えましたが、「セカンドオピニオン受けるならオレもうみないよ」と言われたことを鮮明に思い出しました、14年前の診察室での出来事です。
- ・ SDMについてより具体的かつ実践的な内容を学ぶことができたため
- ・ Shared decision making について、詳細に知ることができ、大変勉強になりました。実際にどういう過程を経て意思決定していくのがよいのか、というところ、大事なところだと思いました。海外で多くのツールが既に作成されている現状も知ることができ、また日本でも少しずつツールの作成がすすんでいると

いうことは大変励みになります。自分で考え、自分で決定することが自分を幸福にする、ということを日本人はもっと知るべきであり考えるべきであると思います。

- ・ 自分のことながら医師や周囲に遠慮し決定できない場面も実情多く感じます。その中で今後どのようにそのような「壁」をなくし患者様に接する要点などの学びとなりました
- ・ 分かりやすい説明でした
- ・ 長期治療がつづき、度々、治療選択をせざるをえないため
- ・ 選択肢の決め方など
- ・ 胸(腹)におちたか。納得できているか 心に響きました。
- ・ SDM についての理解が深まり、もう少し学びたいと感じた。
- ・ 病状説明と同意で治療が行われているが、それだけでは足りないのだと痛感した。
- ・ 患者の立場に立ってのお話としても感動しました。今後の日本の医療の目指す所ですね
- ・ これまで複数回中山先生の講演は拝聴しています。血液がんならではの内容もあり参加してよかったです。
- ・ 治療受ける際の考え方として大変参考になった。知見を得た
- ・ 納得して初回治療を受けましたが、今後再燃時の治療方針決定に活かしたいと思います。
- ・ 大切な内容をわかりやすく、説明していただきました。ご著書は購入を手配しました。
- ・ 心の中で迷っていた事など、口に出してお聞きしてもいいのかも…と覚えてホッとしましたし、何となく安心しております。
- ・ 日本の医療現場では、大変難しく課題とされている内容をわかりやすく丁寧に説明していただきました。今後自分や家族が、医療者と関わる時のヒントをたくさんいただきました。病気や治療のことだけではなく、日常生活の中でも活かしていきたい、と感じるお話でした。スライドの中に、「ペイシエントジャーニー」という言葉があり、日本語では聞いたことがありませんでしたが、海外の文献ではよく使われる言葉なのかと大変驚き、印象に残りました。病気と向き合うということは、「長い旅」に出るような非常に大変なつらい経験でもあり、日本語で「病を得る」というように、病気になったことそのものに必ず意味があり、何か得られるものがある、ということの意味する言葉なのかな…と受け止めております。先生が柔らかな温かい雰囲気でお話を聞いていてホッとしました。
- ・ 先生の語り口調がよかった。日本で意思決定が難しい理由とか、「か・ち・も・な・い」「お・ち・た・か」について初めて知り、今後の参考にしたいと思った。
- ・ デイジジョンエイドという意思決定ツールについて具体的に知ることができ、使ってみようと思います。海外の状況(意思決定教育)も参考になりました。話に出ていた MedlinePlus や NHS も HRQ のクエスチョンビルダーものぞいてみようと思います(英語はできませんが ChatGPT(使ったことないですが)でなんとかできるのかもしれない?! 試してみます。)
- ・ Q&A でもいろいろな情報が聞けて良かったです。COML さんの Q&A ものぞいてみます。メイヨークリニックの薬の比較表、いいですね。日本でもあるとよいと思いました。
- ・ 冒頭のみミズの薬の話は、がん治療の現場も同じだと思いました。お医者さん:がん治療医、お母さん:看護師、みミズの薬:抗がん剤、でした。
- ・ 抗がん剤をやらない選択肢は雰囲気的になかったです。もちろん、やらないことについての説明もなかったです。紙には書いてあったかもしれませんが…。これが、フレーミングでしょうかね。
- ・ とてもわかりやすく、資料も見やすく講義して下さった。

【満足な理由】

- ・ 新しい知識を得る事ができました。改めて録画を見直したいと思います。
- ・ 以前に中山先生の SDM のお話を聞いたあと日常生活のなかでも「おちたか」を意識してみました。「親や先生の言うことをよく聞く子が良い子」だと教えられて育った日本人にとっては初めての SDM による選択が自分の命にかかわることというのはハードルが高いのかとも思いました。今回のお話と質疑応答を聞いていてやはり患者になってからではなくそれ以前の教育や広報などでもっともっと SDM を広めて行く必要性を感じました。
- ・ 患者側が不安や質問を発した時、医師は、患者が十分納得いくまで説明し答えるのが当たり前になってほしい。
- ・ 具体的で分かり易い。(個別性について価値観だけでなく、前提となる状態、診断の信頼度、理解受容も大切だと感じた。誘導リスクも気になるところ)
- ・ とても良いセミナーですが、一度では説明を理解できませんでした。ぜひ、何度も聴取したいです。
- ・ 決定する権利を改めて考えました。
- ・ 意思決定の方法がわかった。私はまず情報不足だと思った。
- ・ (お話を聞く限り)自分はこれまで decision making ができていた方なんだな、と再確認できた。
- ・ 最初から聞くことができなかったのが、残念です
- ・ SDM に関する知識が増えた！
- ・ 病気の治療に対してのみならず、生き方への指針になった。とても有意義でした。
- ・ 医療従事者ではない方の話が新鮮だった
- ・ 現在、選択肢の少ない中ではありますが、悩みながら治療に取り組んでおり、少ないながらもありますが、選択のタイミングがあります。是非とも、「胸におちたか」を心に留め、自分の納得できる治療方法を主治医と共に選択して行ければと考えております。
- ・ 今まで主治医からの治療方針の提示を受け入れ治療していましたが、今後一生付き合う病気なので、自分自身治療の選択をする時か近い将来あるのではないかと再確認出来た。
- ・ 患者様の視点で自身の病気への理解が深めていこうとする人の温かさを感じます。
- ・ 今後、主治医からの治療方針説明等に SDM の考え方を参考にディスカッションしたいと思ったため
- ・ 主治医の治療方針に不明点、疑問点があったので、今回の内容はその解決に有用と思いました、。
- ・ わかりやすく興味深い話だった。
- ・ 音が小さくて聞き取りづらかったのが字幕があるとよかった。
- ・ 思っていた内容とは違い、とても参考になりました。
- ・ とても有益なテーマでした。医師から治療スケジュールを聞き、その治療を受け入れるかどうかだけを考えていました。治療の選択肢があるかどうかを聞いてよい。ということに気付かせて頂きました。治療、薬の比較表！あればいいですね。
- ・ 固形がんに比べると選択肢が狭まる中で患者さんの想いを知る機会になった
- ・ 講義の内容はもちろんでしたが、質問者の方々の立場からどういった気持ちでいるのか、ICの現場においても実際は多くの患者さんが医療者が思っている以上の悩みや不安を抱えているのではないかという見直しのきっかけになりました。すべてが一度の話で理解することが難しいからだからこそ、選択肢を提供してのSDMという取り組みは日本人にこそ必要なのだと感じました。

- ・ 意思決定することは、お話を聞いても難しいですが、納得がいく治療をすることは先々とても大切なことだと思いました。
- ・ 自己決定は幸福感に強い影響を与えるのだと知ったこと

【どちらとも言えない理由】

- ・ 難しい印象でした
- ・ 価値観というより、同様な治療法がいくつもありその中から自分で選ぶような場面を想定していたので
- ・ 考え方は理解できたが具体的に現場でどうしていけばよいか理解不十分
- ・ 治療方法を自分で決めるといのがベストと思いますが、「おちたか」を医師と相談しても結局は、医師の勧める治療に従うことになるのが現実だと思います。
- ・ 私にとって少し難しい内容であったため。

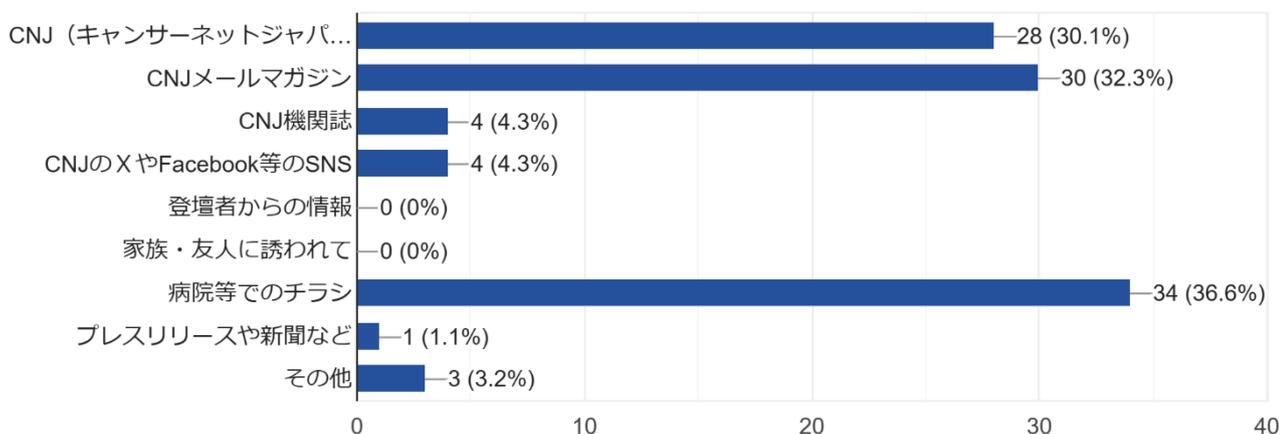
【どちらかという不満な理由】

- ・ 血液がんの事が、もう少し詳しく聞きたかった。
- ・ 机上理論は分かりました。患者の実際のケースをもっと知りたかった。

【不満な理由】

- ・ 理解し難い
- ・ 略語が多く、ついていけずわからなくなった。略語の解説を入れてほしい。

6. 今回のイベントをどこで知りましたか？(複数回答可) (n=93)



その他詳細:MPN-Japan からの情報で、患者家族会からの案内、病院の掲示

7. 一つのテーマでじっくりと、質疑応答の時間も多く取りました。運営についてのご意見やご感想をお寄せください(抜粋)

- ・ とても良いと思った
- ・ いつも貴重な情報を提供して頂き、ありがとうございます。
- ・ いつも質疑応答のお時間を多くとっていただきありがとうございます。
- ・ スムーズな運営でした。
- ・ とてもありがたい。造血器腫瘍に比べて固形がんとの相違点が多くあります。その違いについても触れて両者の場合についても伝える内容が良いかと思いました。高齢者 G8 の評価をしている施設も増えてきています。実際はどうか？また、IC 同席に看護師の同席とその活用を話されていましたが、臨床では看

護師不足で、認定看護師も同席できていません。その実情発信と同席できた活用や診療報酬にも触れていただきたいです。

- ・ とても有難い企画と感謝しております。ありがとうございます。
- ・ とても良いです。直接質問できる機会があるのはうれしいです。
- ・ もっと時間が欲しいと感じました。
- ・ ゆったりと視聴できて良かったです。質疑応答も数多く、とても参考になりました。
- ・ 一つのテーマでじっくりと掘り下げてくれるのは大歓迎です。皆さんからの質問も興味深かったです。
- ・ 感動しました
- ・ 今回のテーマはもう一度やっていただきたいです。
- ・ 視聴者からの現実的な質問が出てよかった。司会の方のフロー(解説)が良かった。
- ・ 事前の開始お知らせやリマインダー機能がありがたいです。有意義な時間を過ごさせていただいています。また、私事ながら子育てをしながらですので、質問コーナー周辺でしか参加できない回もございますが、後日の配信も大変ありがたく、自分の生活スタイルに合った参加ができていること感謝申し上げます。
- ・ 時間内に収まらなかった、質問に対する回答があれば、後日でもいいので知りたい。
- ・ 質疑の時間がもっと欲しい位に内容が濃かったです。タイムスケジュール、進行。とても良かったです。
- ・ 質疑の時間が足りないと思います。私の質問にはお答えいただけなかった。
- ・ 質疑応答で理解が深まりました。
- ・ 質疑応答の時間が多いのは良かった。
- ・ 質問に丁寧に回答して頂いている運営である
- ・ 途中でリタイアしました
- ・ 不安・悩みを抱える方にとってとても良い事だと思うので続けて欲しい
- ・ 複数の質問にじっくり回答してくださって、とてもよかったです。休憩をはさんでくださったので、リフレッシュして聞けました。質疑応答はアーカイブ放送なしとのことでしたので、気兼ねせずに聞けました。
- ・ 勉強になりました。日本の医療が患者主体で意思決定出来るよう、患者さんと目指していきたいと思いました。
- ・ 毎回ですが質疑応答に答える企画はとても患者さんにとって満足度が上がると思います

8. 今後取り上げてほしい血液がんに関するテーマがあれば教えてください

- ・ 多発性骨髄腫②血液がんの治療費について
- ・ ヘムサイト
- ・ リンパ腫とどう向き合っていけばいいか、心のケアを知りたい。
- ・ 悪性リンパ腫
- ・ 悪性リンパ腫の、寛解後の状況や再発について
- ・ 血液ガンだけにとどまりませんが、病气罹患の際の心構えや治療中に実際に患者さんがどのような心持で過ごし、どんなことが励みになったかなど心理的な部分でのモチベーションアップの共有をしていただけたらと思います
- ・ 血液がんとうまく付き合っていく方法
- ・ 血液がんにおける緩和医療

- ・ 血液がんの機序
- ・ 血液がんの経過。どのような経過をたどるか
- ・ 血液がん患者への妊孕性温存療法について
- ・ 高額療養費制度について
- ・ 高齢者の化学療法(薬物療法)選択肢について
- ・ 骨髄異形成症候群や血液がんの最新の治療法と、早期からの緩和ケアを知りたいです
- ・ 骨髄増殖性腫瘍
- ・ 治療が長期になるので、その時の心の持ちよう
- ・ 治療経験者のお話も聞けるといいなと思いました。
- ・ 多発性骨髄腫や骨髄異形成の疾患
- ・ 病院での家族の看護について あり方
- ・ 病期や身体機能(外見)を評価することはあっても患者さんの心情(内面)であったり、QOLに関する評価などについて知りたいですし、どのような評価方法があるかも知りたいです。
- ・ 放射線治療のメリット、デメリット。重量子線治療なども。
- ・ 膀胱がんして欲しい。